

国際拔刀道連盟ニュース



記念大会によせる想い

国際拔刀道連盟会長  
中村流 二代目宗家 中村朋子

平成二十九年度の大会は、十月二十九日に無事終了する事ができました。戸山流・中村流の大会としては第二十三回、そして国際拔刀道連盟としては節目の第二十回として活気溢れる記念大会でございました。

小さな剣士から八十代の方まで、そして日本各地からはもとより、遠く海外からもお集まり頂き、心より感謝申し上げます。

当日は雨の1日となりましたが、ご準備や後片付けにご尽力頂き本当にありがとうございました。

大会を二十回も重ねてくる事ができましたのは、数多くの方々のお力を頂いたお蔭と痛切に感じております。陰で支えて下さる方々のご恩を無にしない為に、私共が出る事は、事故のない安全な大会、和の



大会  
特別号

発刊所  
国際拔刀道連盟

発行者：会長 中村朋子  
主管：事務局長 中村憲三  
編集：本部道場 鶴誠会



ある大会、剣士の皆様が日頃の修練の成果を遺憾なく発揮出来る大会を実現することと思っております。

これからも、より充実した大会の回を重ねて行く事が出来ますよう、また関係各位のご指導を賜りますよう努力をして参りたいと存じます。何よりも会員の皆様の一丸となったご協力を深くお礼申し上げますと共に、どうぞこれからも宜しくお願い申し上げます。

第二十回記念 国際拔刀道連盟全国大会  
第二十三回 戸山流・中村流拔刀道大会 開催

おめでとうございます！

国際拔刀道連盟名誉会長  
衆議院議員 小此木八郎

この記念すべき大会に国内はもとより、海外からも大勢の剣士が集結され、まさに国際拔刀道の名にふさわしい、盛大な大会になりますことは必至であると信じてやみません。

皆様も百錬自得、弛まざる稽古に励まれ、大成されま

すことをお祈りいたします。

(大会パンフレットより抜粋)



御礼

国際拔刀道連盟理事長  
大会実行委員長 中村憲三

十月二十九日(日) 国際拔刀道連盟の全国大会が節目の第二十回大会として、初代宗家 中村泰三郎先生が眠る横浜市の鶴見スポーツセンターで盛大に開催されました。

今回の大会は、宗家を敬う諸先生方を始め、欧米を始めとした国内外百名近い剣士、そして大会を支える役員の皆様等、多くの方々のご支援、ご協力を頂きまして、正に歴史に刻まれる充実した素晴らしい大会となりました。主催の実行委員長として、厚く御礼を申し上げます。

宗家が、生涯をかけて剣の道の発展と世界に誇る日本刀での真剣斬りの真髄を追求された「活人剣」。それが、皆々様の心と身体の中に生き、抜刀道本来の姿、形に表れていたのでは、と確信致します。

この大会が、更なる充実度を高め、永遠なる抜刀道として発展される事を、皆々様共々お祈りしたいと思っております。

